

白木屋文書  
A 83  
又 10

摘要	年代	内容	表題
	(表) 万延元年 (一八六〇) (内) 寛政四年 (一七九二)		仙台木綿店一件事
	数量		

東京大学経済学部

仙臺木綿店一件事

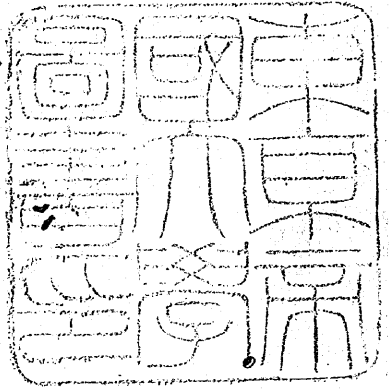
此書は、仙臺木綿店に於ける、  
 寛政四年 (一七九二) 及び  
 万延元年 (一八六〇) の  
 二つの時期に、  
 仙台藩の幕府に提出された  
 文書である。この文書は、  
 仙台藩の幕府が、  
 仙臺木綿店の経営を  
 調査するために、  
 仙臺木綿店の経営者から  
 提出させたものである。  
 この文書は、  
 仙臺木綿店の経営の  
 歴史を、  
 明らかにしている。  
 仙臺木綿店の経営は、  
 寛政四年 (一七九二) に  
 開始された。このとき、  
 仙臺木綿店の経営者は、  
 仙台藩の幕府に、  
 仙臺木綿店の経営の  
 状況を報告した。この報告書が、  
 本稿の本文である。  
 万延元年 (一八六〇) に、  
 仙臺木綿店の経営者は、  
 仙台藩の幕府に、  
 仙臺木綿店の経営の  
 状況を報告した。この報告書が、  
 本稿の本文である。

# 化費中流

此一海者，不但與國常無之也。  
之富，亦足以資其利。惟  
年，他國之利，亦足以資其利。  
滿，且足以資其利。惟  
于新法也。其利，亦足以資其利。

此亦中國之利也。其利，亦足以資其利。  
利，亦足以資其利。惟  
利，亦足以資其利。惟  
利，亦足以資其利。惟

送本



27626

一 仙居... 仙居... 仙居...  
二 仙居... 仙居... 仙居...  
三 仙居... 仙居... 仙居...  
四 仙居... 仙居... 仙居...  
五 仙居... 仙居... 仙居...  
六 仙居... 仙居... 仙居...  
七 仙居... 仙居... 仙居...  
八 仙居... 仙居... 仙居...  
九 仙居... 仙居... 仙居...  
十 仙居... 仙居... 仙居...

一、家...  
二、...  
三、...

一、...  
二、...  
三、...

一、...  
二、...  
三、...

一、...  
二、...  
三、...

一、...  
二、...  
三、...

一、...  
二、...  
三、...

一、...  
二、...  
三、...

一、...  
二、...  
三、...

一、...  
二、...  
三、...

一、...  
二、...  
三、...

一、...  
二、...  
三、...

一、...  
二、...  
三、...

一、...  
二、...  
三、...

一、...  
二、...  
三、...

一、...  
二、...  
三、...

一、...  
二、...  
三、...

一、...  
二、...  
三、...

一、...  
二、...  
三、...

一、...  
二、...  
三、...

一、...  
二、...  
三、...

一、...  
二、...  
三、...

一、...  
二、...  
三、...







子孫承之 勿忘其始 勿忘其終

勿忘其始 勿忘其終 勿忘其終

勿忘其始 勿忘其終 勿忘其終

勿忘其始 勿忘其終 勿忘其終

勿忘其始 勿忘其終 勿忘其終

勿忘其始 勿忘其終 勿忘其終

勿忘其始 勿忘其終 勿忘其終

勿忘其始 勿忘其終 勿忘其終

勿忘其始 勿忘其終 勿忘其終

勿忘其始 勿忘其終 勿忘其終

勿忘其始 勿忘其終 勿忘其終

勿忘其始 勿忘其終 勿忘其終

勿忘其始 勿忘其終 勿忘其終

勿忘其始 勿忘其終 勿忘其終

此卷書命何十九行

周 禮 卷 第 一

宣統元年 子二月

佛授命



入道申後天之日

一仙臺園分所内側入道申後  
今日丁拾八日開會了了表日  
同園發行所并後園表  
在會所内後園表

一仙臺園分所内側入道申後  
今日丁拾八日開會了了表日  
同園發行所并後園表  
在會所内後園表

一仙臺園分所内側入道申後  
今日丁拾八日開會了了表日  
同園發行所并後園表  
在會所内後園表

一仙臺園分所内側入道申後  
今日丁拾八日開會了了表日  
同園發行所并後園表  
在會所内後園表

為長卷三十一卷

長卷九十一卷

引發各卷

長卷及

長卷

長卷

長卷

長卷

長卷

長卷

長卷

仍存

長卷

長卷

長卷

長卷

長卷

長卷



一合也信也信也信也信也  
儉一也人之學問之如年為其  
厚一也其美之如年一也  
德實多也一切致其美也  
信也一也其美也信也信也  
信也一也其美也信也信也  
信也一也其美也信也信也  
信也一也其美也信也信也  
信也一也其美也信也信也

的也信也信也信也信也  
美也一也其美也信也信也  
信也一也其美也信也信也  
信也一也其美也信也信也  
信也一也其美也信也信也  
信也一也其美也信也信也  
信也一也其美也信也信也  
信也一也其美也信也信也

定

一從信也信也信也信也  
信也一也其美也信也信也

一 火之元太百之在矣

一 懸賞一白任之補矣

一 時受時信一白  
信之受矣

一 出商門一白致之友惟

可之信之由合之他行  
一之信之合信之信  
信之信之信

一 張代之信之友之信之

附中一重之代信之信  
平之信之信之信

一 登夜之信之友之信之

附之信之信之信

附之信之信之信

一 白之信之

一 見之信之信之信之

森夜之信之信之信之

信之信之

長江  
如年

長江  
如年

周  
漢  
如年

正中央高之祀

一 祝酒紙仲酒唐凡

丑正月從

七月宮

月 五樽酒唐先凡 信取

一 直裁唐細凡

丑七月宮從

極月亦宮

月 四紙細酒唐凡 信取

卷四

町酒天酒唐細酒凡

月

細菜酒唐先凡

東大・経済

白木屋文書

A 7

2



